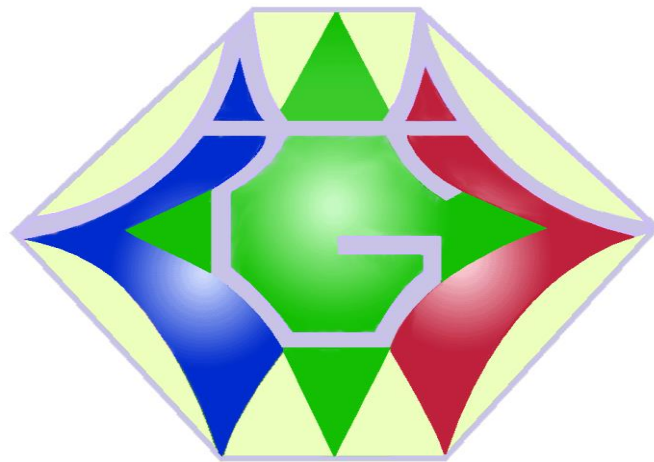
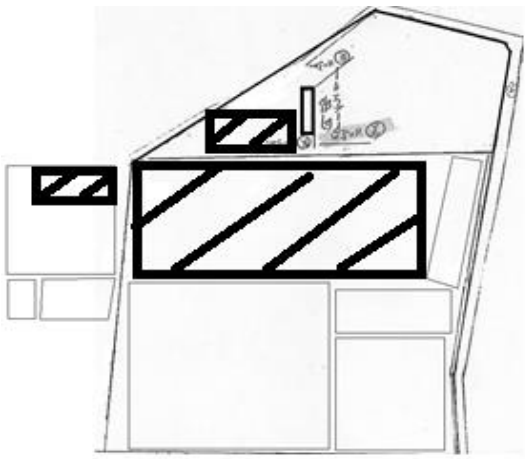
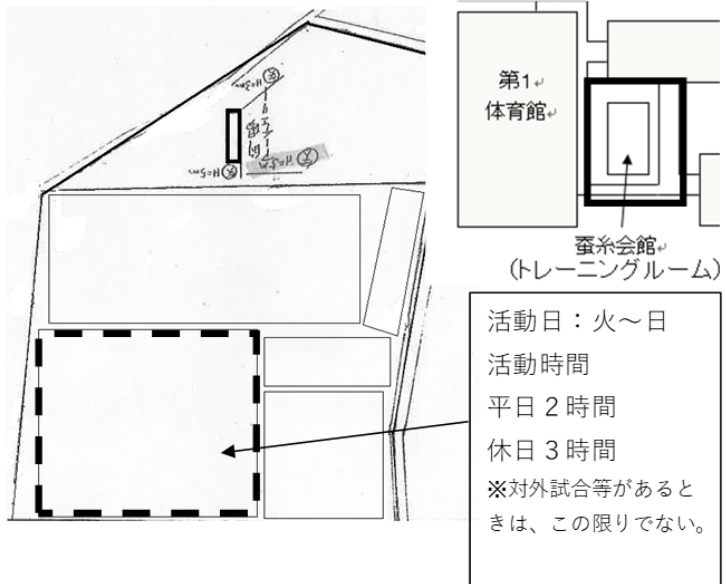
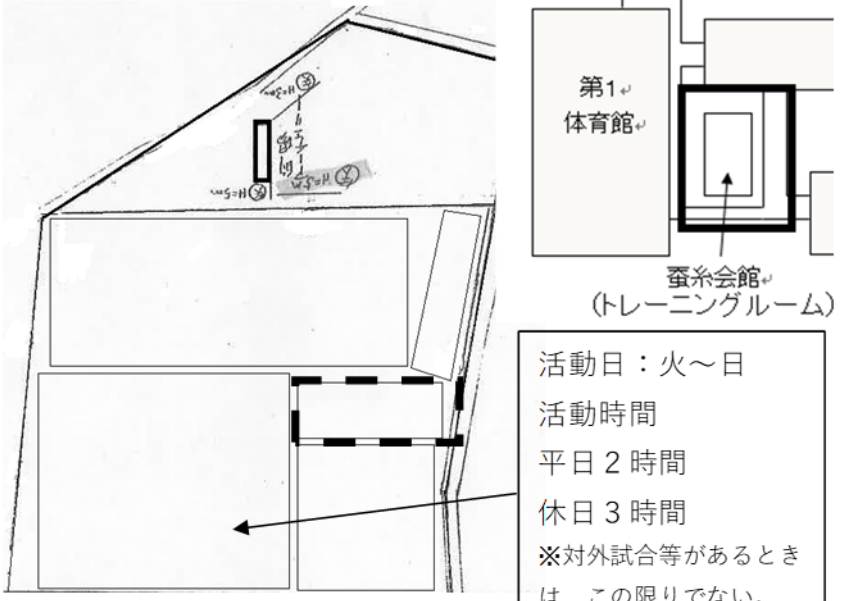


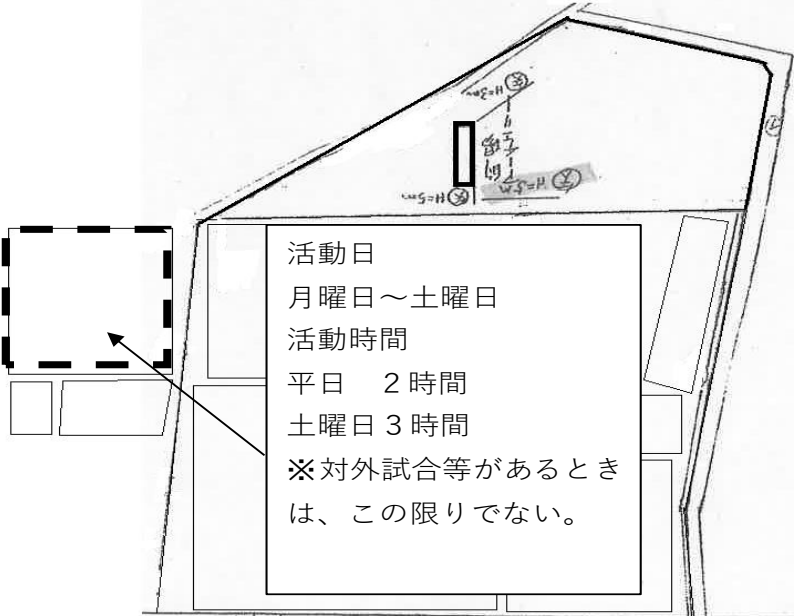
令和 7 年度 部活動安全管理体制

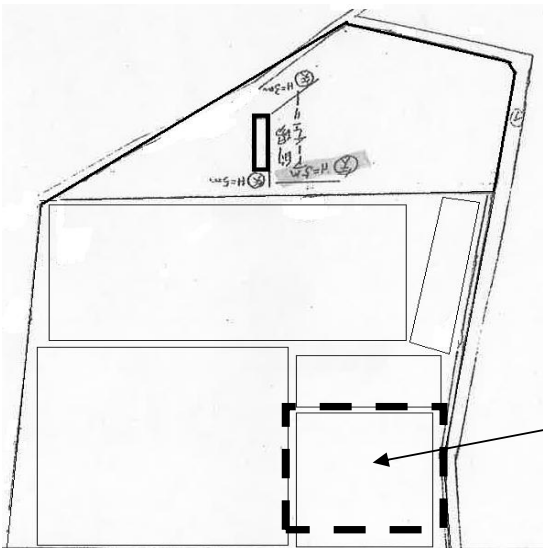


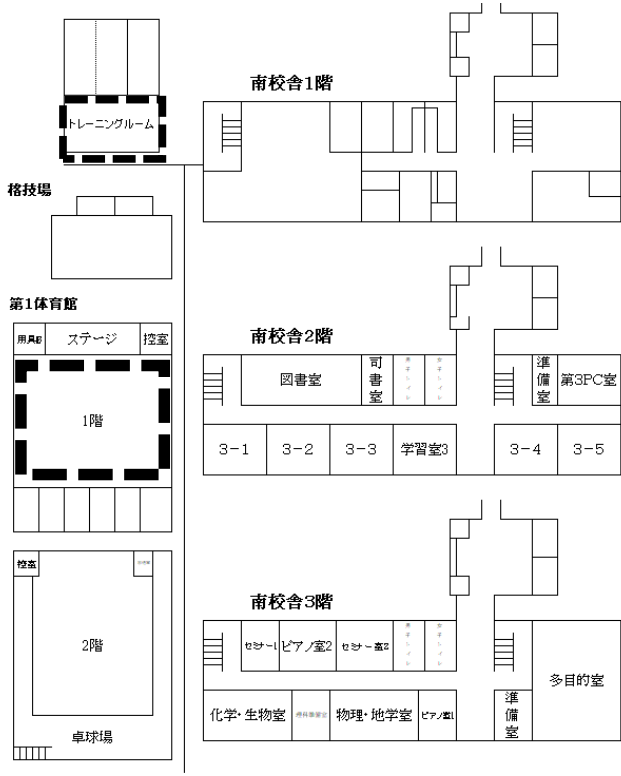
令和7年度 部活動安全管理体制		安中総合学園高校
部活動名	硬式野球部	
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：3名	
顧問と副顧問の役割分担	基本的には顧問、副顧問の2名体制。顧問不在時は副顧問が指導する。	
部員数	31名（3年9名、2年11名、1年11名）	
活動場所および活動時間 （トレーニング・部室棟全てを図内に記入）	 活動日 〈平日〉火～金 〈休日〉土・日 活動時間 〈平日〉2時間 〈休日〉3時間 ※対外試合等があるときは、この限りでない。 第1体育館 蚕糸会館 (トレーニングルーム)	
施設・用具等の状態	・防護ネットは紐が緩んだり穴が空くため、活動日は点検・補修を行う。 ・3塁ベンチ裏側のケージはチェックしてから使用している。 ・ピッチングマシンは3輪式のもののみ使用。 ・他の部と共有で使用する場合は間にフェンスを置いている。 ・グラウンドの小石・雑草などは使用の都度、收拾している。	
他部と兼用している場所・用具	場所：グラウンド・トレーニングルーム 道具：ウエイト道具	
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・ホームベース付近はソフトテニス部、ライト付近はサッカー部、センター付近はラグビー部、レフト付近は陸上部と兼用である。打球が出てしまうことがあるのでフェンスを設置し、また、危険性のあるメニューを行わないようにしている。	
熱中症対策	給水は練習中いつでも行えるようにし、また、練習メニューの合間に時季に応じて頻度を変更しながら休憩を設定している。	
校外での活動の際の移動方法	近隣は現地集合 遠征はマイクロバス、保護者送迎	
日常使用する校外施設	5月～8月 西毛総合運動公園 野球場	
部内の安全に係わる確認事項	・打撃練習の際、ヘルメット着用と防護ネットの設置 ・通行者がいる場合は練習を一時停止している。 ・活動日のグラウンド、ネット類などの施設チェックを恒常化している。 ・水分補給、練習後のケア、健康調査の徹底	

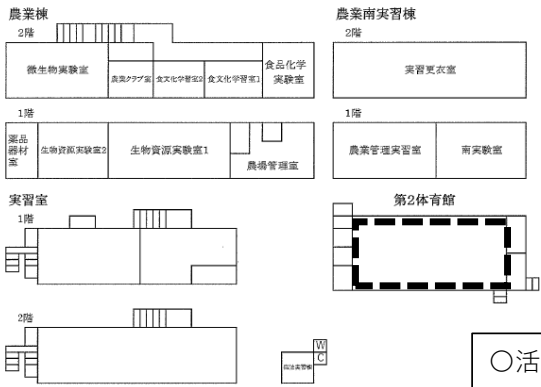
部活動名	サッカー部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：3名
顧問と副顧問の役割分担	平日は顧問、副顧問1名の2名体制。休日は副顧問が2名追加。
部員数	41名（3年14名、2年14名、1年13名）
活動場所および活動時間(トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 第1体育館 蚕糸会館 (トレーニングルーム) 活動日：火～日 活動時間 平日 2 時間 休日 3 時間 ※対外試合等があるときは、この限りでない。
施設・用具等の状態	・サッカーゴールは、移動して使うことが多く杭で固定することができないため、専用の重りを置くことで倒れないようにしている。 ・グラウンド下から昔に埋めたであろう瓶の破片が出てきたりするので、注意が必要。また、石も多く定期的にグラウンド状態を確認し、安全管理に努めている。 ・部室棟のフェンスは出っ張りがあるため、ボールがぶつかるとうすぐにパンクしてしまう。 ・職員室の窓へボールが当たらないようネットを張ってもらい対応をした。
他部と兼用している場所・用具	野球、ラグビー、ソフトボール
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・ソフトボール部やラグビー部活動中にボールが転がっていきしまい、踏みそうになる→ボールが行くときは大きな声で知らせる ・野球部やラグビー部、ソフトボール部との境界線に生徒を立たせることで、ボールが転がることを防いだり、素早く声をかけるようにした ・サッカー部員がソフトボール部のボールを返球する際に、投げたボールが部員の首にあたってしまった→ボールを返すときは転がすよう指導した。
熱中症対策	活動時間の短縮、定期的な飲水、休憩時間の確保、塩分タブレットの配付、クーラーボックスへ氷を入れ、飲み水やアイシング等に活用、大型扇風機と霧吹きを使い、気化熱による熱の発散
校外での活動の際の移動方法	各自現地集合、学校バス、保護者送迎
日常使用する校外施設	安中スポーツセンター、西毛運動公園陸上競技場
部内の安全に係わる確認事項	・体調管理に関する指導 ・熱中症対策に関する指導 ・緊急時事態発生時の指導

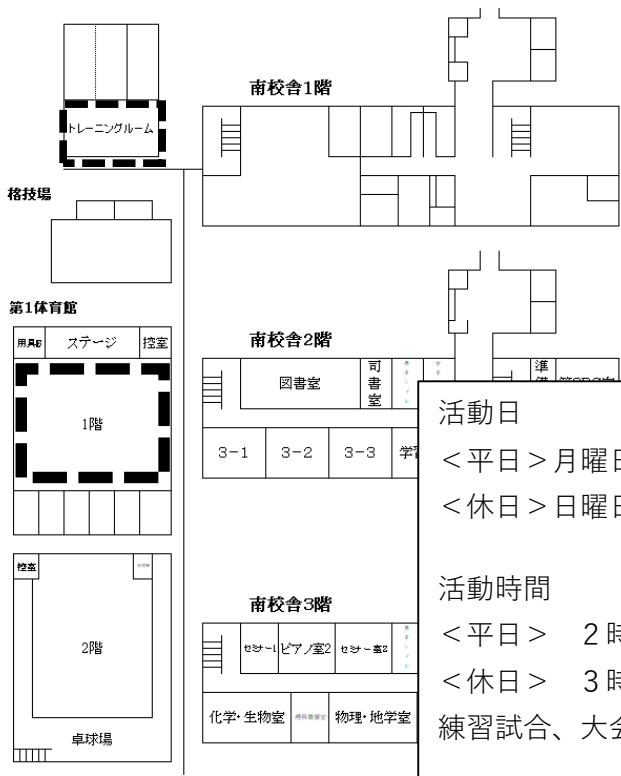
部活動名	ラグビー部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：1名
顧問と副顧問の役割分担	平日、休日とも顧問が練習指導。指導できない休日は部活動休み
部員数	0名（3年0名、2年0名、1年0名）
活動場所および活動時間 （トレーニング・部室棟全てを図内に記入）	 活動日：火～日 活動時間 平日 2 時間 休日 3 時間 ※対外試合等があるときは、この限りでない。
施設・用具等の状態	・ラグビーボールを設置する場合、ウレタン製のボールカバーを装着し衝突しても怪我をしない配慮をしている。 ・グラウンド下から昔に埋めたであろう瓶の破片が出てきたりするので、注意が必要。また、石も多く定期的にグラウンド状態を確認し、安全管理に努めている。 ・コンタクトが伴うスポーツのため接触プレーが伴う練習、試合ではヘッドキャップ、マウスピースの装着をしている。
他部と兼用している場所・用具	野球、サッカー、ソフトボール
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・ソフトボール部やサッカー部活動中にボールが転がっていき、踏みそうになる→ボールが行くときは大きな声で知らせる。 ・ラグビー部員がソフトボール部のボールを返球する際に、転がすよう指導した。
熱中症対策	活動時間の短縮、定期的な飲水、休憩、塩分タブレットの配付、クーラーボックスに氷を入れ、飲水やアイシング等に活用。
校外での活動の際の移動方法	各自現地集合、学校自動車
日常使用する校外施設	なし
部内の安全に係わる確認事項	・体調管理に関する指導 ・熱中症対策に関する指導 ・緊急時事態発生時の指導

令和7年度 部活動安全管理体制		安中総合学園高校
部活動名	ソフトテニス部	
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：3名	
顧問と副顧問の役割分担	基本的には顧問、副顧問の2名体制。顧問不在時は副顧問が指導する。	
部員数	20名（3年5名、2年9名、1年6名）	
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 月曜日～土曜日 活動時間 平日 2時間 土曜日 3時間 ※対外試合等があるときは、この限りでない。	
施設・用具等の状態	・テニスコートのネットは常設し、1コートにつき1台の審判台をコート脇に設置している。 ・テニスコートの東側と南側の防護ネットは穴が開いてしまうため、適宜点検と補修を行う。 ・コート整備用のブラシを4本、ホウキを15本使用している。 ・暗くなったらコート北西にある照明を用いる。 ・ボールやブルーシートなどの道具を入れている倉庫が2個あり。1個は、足下部分を修理した。	
他部と兼用している場所・用具	なし。	
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・野球やサッカーのボールがコート内に入ってくることがあるので、顧問間で練習の内容の情報を共有し、注意喚起を行う。	
熱中症対策	こまめな給水と休憩、テントの設置、クーラーボックスの使用	
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎 自転車等	
日常使用する校外施設	なし。	
部内の安全に係わる確認事	・練習前のコートに入る人数と内容の情報を共有し、全体理解を図る。 ・足下にボールが転がっている状態で練習を行わない。 ・コート整備の徹底。	

部活動名	女子ソフトボール部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	基本的には主顧問・副顧問で協力し指導している。顧問不在時は副顧問が指導する。
部員数	7名（3年4名、2年1名、1年2名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 火～日 活動時間 平日 2時間 休日 3時間
施設・用具等の状態	・バックネットは紐が緩むことがあるため、適宜補修して使用している。 ・ネットティー用のネットは穴が空いていたり、枠とネットの大きさが合わないものがある。ネットの足が破損した時は修理をした。 ・照明が届かないため暗くなった時は活動できない。 ・ホームベースとピッチャープレートは埋め込み、その他は部活の度に固定具とともに設置している。
他部と兼用している場所・用具	外野付近（サッカー、ラグビー、陸上）
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・サッカー部やラグビー部活動中にボールが転がっていき、踏みそうになる→ボールが行くときは大きな声で知らせる。 ・陸上部が走ってきた際に、ボールが当たりそうになった→陸上部が来たときは活動を停止する。 ・ボールを拾って返球してもらった際、投げられたボールが部員の首にあたってしまった。→ボールを返すときは転がしてもらうことにした。
熱中症対策	テントの設置、ジャグの準備（コップは使用せず各自の水筒）、休憩時間の確保、帽子を被らせる指導、塩分タブレットの配付、グラウンドの水まき。
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎 年に数回学校バス
日常使用する校外施設	なし。
部内の安全に係わる確認事	・打撃練習の際、前からトスする場合はヘルメット着用。 ・ボールが転がっている状態を作らない。 ・危険時の声かけの徹底。 ・グラウンド整備の徹底。

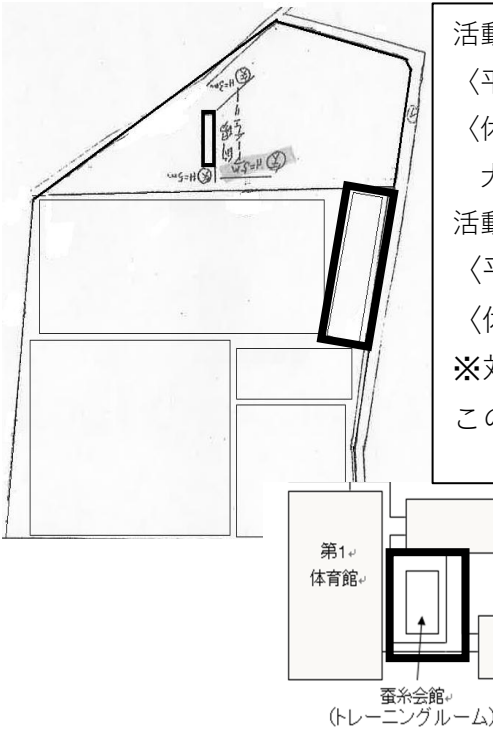
部活動名	男子バスケットボール部
顧問・副顧問	顧問：1名、副顧問：3名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が全面的に指導している。
部員数	15名（3年6名、2年5名、1年4名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 ・平日：火～金 ・休日：土・日 活動時間 ・平日 2 時間 3 0 分 ・休日 3 時間 3 0 分 ※対外試合等があるときは、この限りでない。
施設・用具等の状態	・フロアには目立った破損はないが、床が滑りやすい箇所がある。 ・雨天時には雨漏りがある。 ・バスケットリングの傷みが激しく、ボードにひびが入っている。 ・バスケットリングの開閉レバーが一カ所破損している。 ・体育館入り口付近に敷いてある緑のマットに足を取られることがある。 ・体育館に生徒が使用できる水道が無い。
他部と兼用している場所・用具	第1体育館・用具庫Aを男子バレーボール部と兼用している。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・フロアには目立った破損はないが、床が滑りやすい箇所がある。 →濡れ雑巾を踏んでコートに入る。 ・雨天時には雨漏りがある。 →バケツを置き、その場所を避けて練習している。 ・バスケットリングの傷みが激しく、ボードにひびが入っている。 →ガムテープで補強している。 ・体育館に生徒が使用できる水道が無い。 →生徒が各自で水分を用意している。
熱中症対策	メニュー間の休憩時間を多く設定している。
校外での活動の際の移動方法	自転車、公共交通機関、保護者送迎
日常使用する校外施設	なし。
部内の安全に係わる確認事項	バレーのコートへボールが転がっていくことのないように留意している。フロアにボールが転がったままにすることがないように指導している。

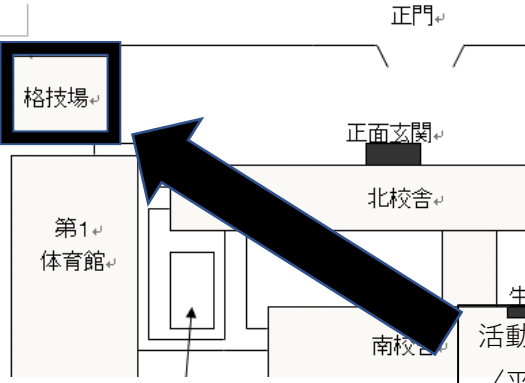
部活動名	女子バスケットボール部
顧問・副顧問	顧問：1名、副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が主に指導している。副顧問は大会引率や顧問不在時に指導する。
部員数	2名（3年2名、2年0名、1年0名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 ○活動日 月～金 ○活動時間 ・平日：1～1.5時間 ・休日：原則活動無し ※対外試合等があるときは、この限りでない。
施設・用具等の状態	概ね良好である。
他部と兼用している場所・用具	第2体育館・器具庫を女子バレーボール部と兼用している。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・練習中に踏ん張りがきかず、滑ってしまう。 →濡れ雑巾を踏んでコートに入る。
熱中症対策	・水分補給の時間を多く設定している。 ・塩分タブレットの配付。
校外での活動の際の移動方法	自転車、公共交通機関、保護者送迎
日常使用する校外施設	なし。
部内の安全に係わる確認事項	・練習前にモップをかけコートの整備をしている。 ・ボールの管理を行い、床に転がっていることがないようにしている。 ・危険時の部員同士の声かけを徹底している。

部活動名	男子バレーボール部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	基本的には顧問が指導にあたる。顧問不在時には副顧問と連携しながら指導する。
部員数	23名（3年1名、2年8名、1年14名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 <平日> 月曜日～金曜日 <休日> 日曜日 活動時間 <平日> 2時間 <休日> 3時間 練習試合、大会時は別日程
施設・用具等の状態	概ね良好
他部と兼用している場所・用具	男子バスケットボール部、場所：第一体育館、器具庫
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・練習時の壁や支柱への接触 ・練習時はボールを深追いしないよう徹底
熱中症対策	・体調管理を徹底。調子の悪いときは練習に参加しない。 ・練習メニューごとに休憩、水分補給を行う。
校外での活動の際の移動方法	公共交通機関、保護者送迎、公用車（運転手：顧問）
日常使用する校外施設	特になし
部内の安全に係わる確認事項	・競技の特性上、ボールが不用意に転がっていることのないようお互いに意識する。 ・用具の正しい使用法を教える。 ・緊急時には速やかに顧問に連絡する。

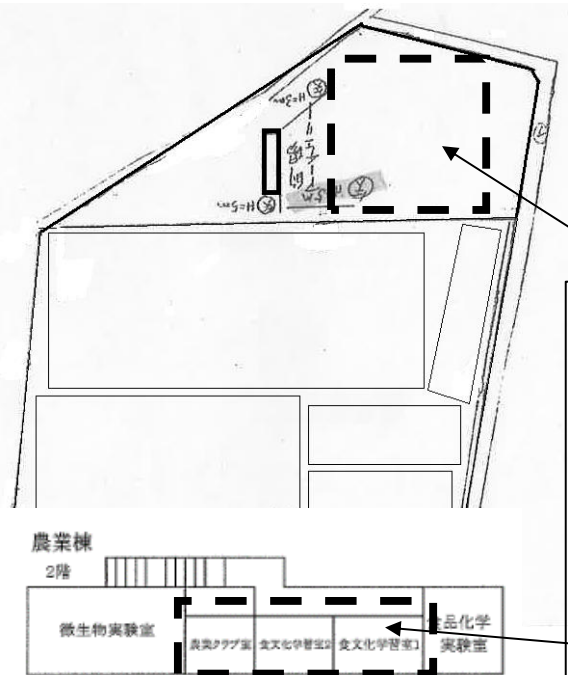
部活動名	女子バレーボール部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	部活動の開始から終了までの全ての活動を顧問及び副顧問が行う。
部員数	9名（3年4名、2年4名、1年1名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	■活動日 <平日> 月～水曜日、金曜日 <休日> 土曜日 ■活動時間 <平日> 2時間 <休日> 3時間 なお、練習試合、大会がある場合は別日程となる。
施設・用具等の状態	・支柱が古く重いので注意が必要である。 →現在、対応を事務と検討中
他部と兼用している場所・用具	場所：第2体育館・用具庫を男子バレーボール部、女子バスケットボール部と兼用している。 用具：特になし
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし。
熱中症対策	・体調管理（食事、睡眠、休養等）に関する指導を徹底する。 ・こまめに水分補給と休憩をとるように指示する。 ・夏季及び高温が予想される場合、濡れタオルや塩分タブレットを用意し、練習時間、内容を見直す。 ・熱中症対応フローを活動場所に掲示し、注意喚起を促す。
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎
日常使用する校外施設	特になし。
部内の安全に係わる確認事項	・活動前に部員の健康状態を確認し、発熱や体調不良がある場合は自宅安静させる。 ・危険時の声かけの徹底（周囲への警告）。 →防球ネットを超えて男子コートにボールが転がってしまうことがあるので注意する。 ・用具の使用方法和管理の確認。 →特に支柱が重いので周囲を確認し、安全に運ばせる。 ・緊急事態発生時の指導（AEDの使用法、熱中症を発症した際の対処方法等）。

部活動名	卓球部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	基本的には顧問1人体制。顧問不在時は副顧問が対応。
部員数	3名（3年3名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	トレーニングルーム 格技場 第1体育館 1階 2階 卓球場 南校舎1階 南校舎2階 南校舎3階 図書室 司書室 学習室3 化学・生物室 物理・地学室 ピアノ室1 多目的室 準備室 第3PC室 3-1 3-2 3-3 3-4 3-5 活動日 月～金 活動時間 2時間
施設・用具等の状態	・卓球マシンは可動状態、適宜使用している。 ・基本的に用具はロッカーに入れている。一部収納しきれない物はロッカー近くの長机下に収納している。
他部と兼用している場所・用具	なし。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・打球がネットを超えてしまうことがあり、女子バスケ部のコートに落下してしまうことがあった。→ボールが落下したときは、バスケ部に声をかけて知らせる。
熱中症対策	・水分補給を促す。 ・塩分タブレットを配付する。 ・扇風機を使用し、気化熱で体温を下げるようにする。
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎、個別移動（自転車、公共交通機関等）
日常使用する校外施設	なし
部内の安全に係わる確認事項	・ボールを散らかさない。多球練習時はフェンス等を使用する。 ・卓球台を複数人で展開・片付ける。

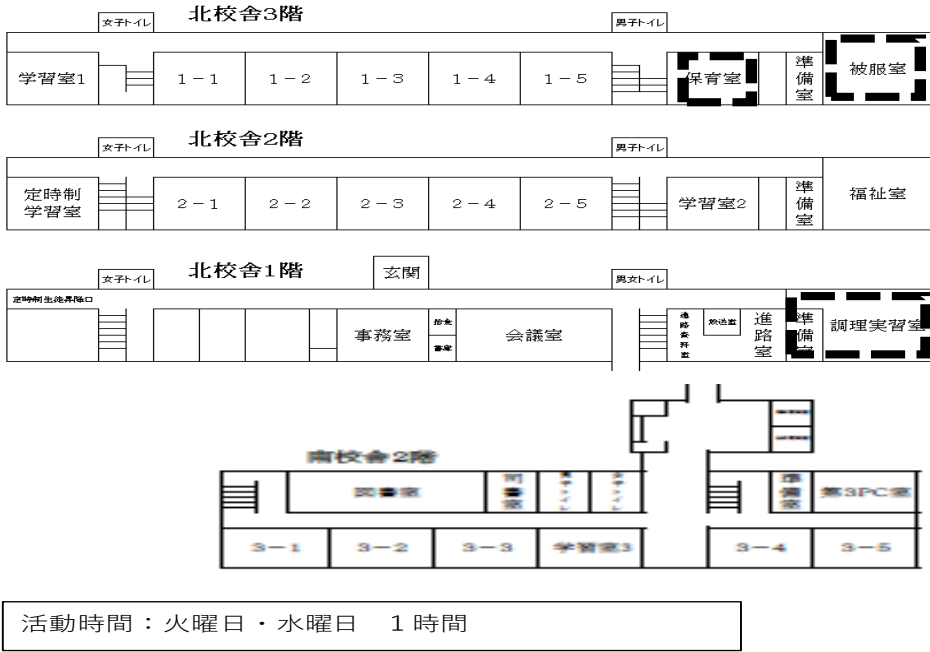
部活動名	陸上競技部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：3名
顧問と副顧問の役割分担	基本的には、顧問が指導。大会や校内練習・郊外練習で、顧問が指導できないときに、副顧問が対応する。
部員数	16名（3年男子2名・3年女子1名、2年男子5名・女子1名、1年男子6名・女子2名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 〈平日〉月・火・水・金 〈休日〉土 大会等で日曜も活動あり 活動時間 〈平日〉2時間 〈休日〉3時間 ※対外試合等があるときは、この限りでない。 第1体育館 蚕糸会館 (トレーニングルーム)
施設・用具等の状態	○メディシンボール、マーク、ピストル、ハードル ⇒ 安全確認済 ○グラウンド ⇒ 安全確認済
他部と兼用している場所・用具	場所：グラウンド・トレーニングルーム 道具：ウエイト道具
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし。
熱中症対策	1、水分補給がいつでもできる状況作る 2、休憩時間の確保 3、熱中症対策のための準備（経口補水液・タブレットなど） 4、天候などを考慮した練習内容の変更
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎 ・ 自転車 ・ 公用車（バスなど）
日常使用する校外施設	平日・休日などにもみじ平陸上競技場、浜川運動公園、ベルジャパン
部内の安全に係わる確認事項	・ 体調管理に関する指導 ・ 熱中症対策に関する指導 ・ 緊急時事態発生時の指導

部活動名	剣道部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	基本的に顧問が指導を行い、顧問不在時は副顧問が指導する。
部員数	12名（3年4名、2年3名、1年5名）
活動場所および活動時間（トレーニング・部室棟全てを図内に記入）	 活動日 〈平日〉月～金 〈休日〉土 活動時間 〈平日〉2時間 〈休日〉3時間 大会前はこの限りでない。
施設・用具等の状態	・主に格技場にて活動を行う。 ・活動終了後のモップがけ（学期に1回以上大掃除を行う） ・竹刀・防具等は各個人が手入れを行い、顧問も確認を行う ・蛍光灯が切れた場合は即時に交換してもらう。 ・柔道場にあるトレーニング用具等の使用
他部と兼用している場所・用具	雨天時や悪天候時、格技場（柔道場）ラグビー部等
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・床が剥がれてきている。→補修テープを貼る。 ・格技場に荷物が置かれている。→柔道場や更衣室に荷物を移す。 ・電気トラブル（掃除機を使いすぎてブレーカーが落ちた） →夏季休業中は電気無しで活動した。（5年前）
熱中症対策	冷蔵庫に飲み物や保冷剤等を冷やしておき自由に使用させる。
校外での活動の際の移動方法	公用車利用（使用不可の際は保護者送迎）
日常使用する校外施設	無
部内の安全に係わる確認事項	・日々掃除を行い、危険ヶ所がないか確認を行う。 ・柔道場との間や壁際への注意、呼びかけ。 ・使用具（竹刀、防具や道着等）を床に置きっぱなしにしない。 →地域の緊急時の避難場所となるので常に綺麗に使用する。

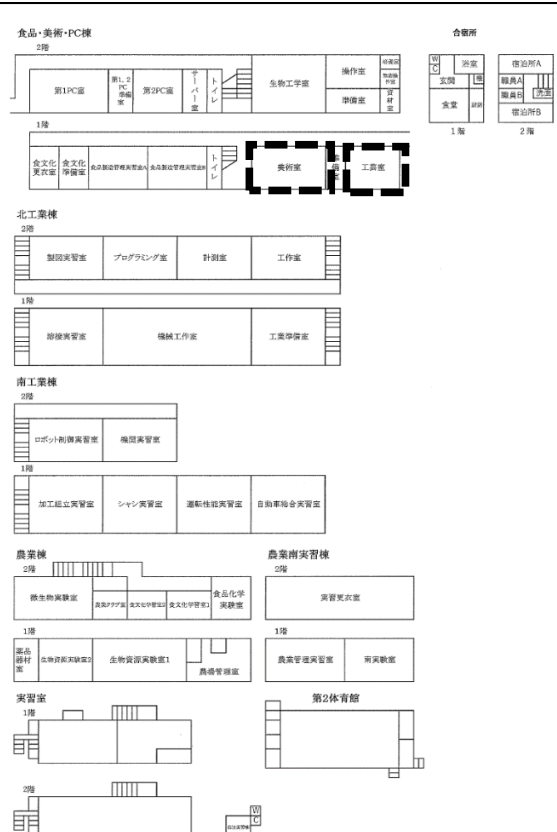
部活動名	ダンス部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：3名
顧問と副顧問の役割分担	部活動の開始から終了までの活動を顧問、副顧問で協力して行う。
部員数	32名（3年5名、2年10名、1年17名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	■活動日・活動時間 <平日> 月曜日～金曜日 2時間 <休日> 土曜日OR日曜日 3時間 ※対外試合等があるときは、この限りでない。
施設・用具等の状態	・網戸が故障 ・冷風機が一台故障
他部と兼用している場所・用具	場所：校舎（教室）を使用する場合がある。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・部室外の練習時、野球やサッカーのボールが飛んでくることがある。 ・倒立等の練習 ・ボールの見張りや倒立の支え役を割り当てている。
熱中症対策	・部室周辺にホース等で水撒きをし地熱を下げる。 ・体調管理（食事、睡眠、休養等）に関する指導を徹底する。 ・こまめに水分・タブレット補給、休憩をとるように指示する。 ・感染症対策のため換気を充分に行った上で、必要に応じてマスクを外して活動させる。
校外での活動の際の移動方法	・現地集合 ・保護者送迎
日常使用する校外施設	体育館やレンタルスタジオ
部内の安全に係わる確認事項	・体調管理に関する指導 ・熱中症対策に関する指導 ・緊急時事態発生時の指導

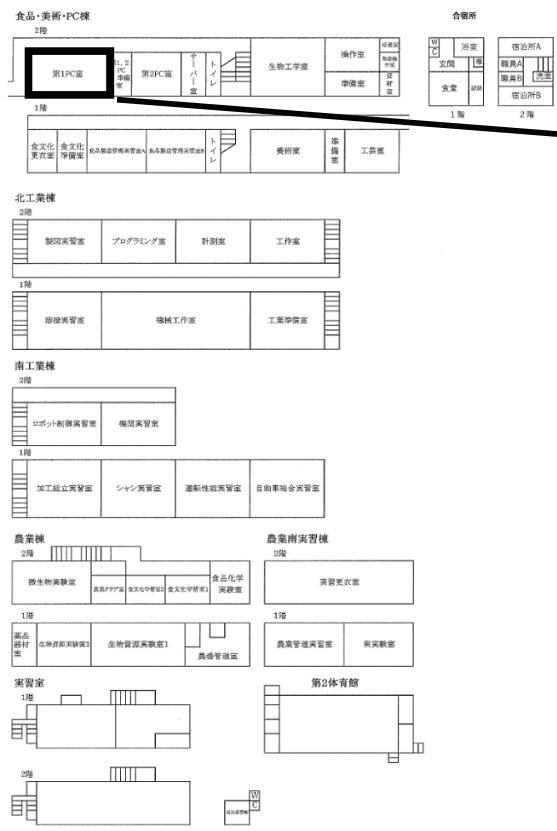
部活動名	弓道部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	基本的に顧問が指導し、顧問不在時は副顧問が対応する。
部員数	21名（3年6名、2年8名、1年7名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 月～土 活動時間 平日 2時間 休日 3時間 (雨天時農業棟)
施設・用具等の状態	・通常の弓道部と異なり、弓道場がない（R5年度屋根を追加してもらった）ため雨天時の通常練習が難しく不利な状況である。 ・屋外のため弓の劣化が激しく、使用できる物が少ない。 ・防矢ネットや照明を追加してもらい安全性が向上した。
他部と兼用している場所・用具	なし。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	・野球部のバッティング練習中のボールが飛んでくる。→打つ方向を変更してもらった。 ・新入生が熱中症気味になった。→テントの設置 ・筋トレ中の怪我。→強度の低い体幹トレーニングに変更。
熱中症対策	テントの設置、休憩時間の確保、塩分タブレットの配付
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎
日常使用する校外施設(図等添付)	なし。
部内の安全に係わる確認事項	・弓を引いている人の前方に立ち入らない。 ・休憩時間の確保。 ・誤射対策として防矢ネットを追加した。 ・射が安定するまでゴム弓練習を行い、矢を飛ばす練習は禁止。

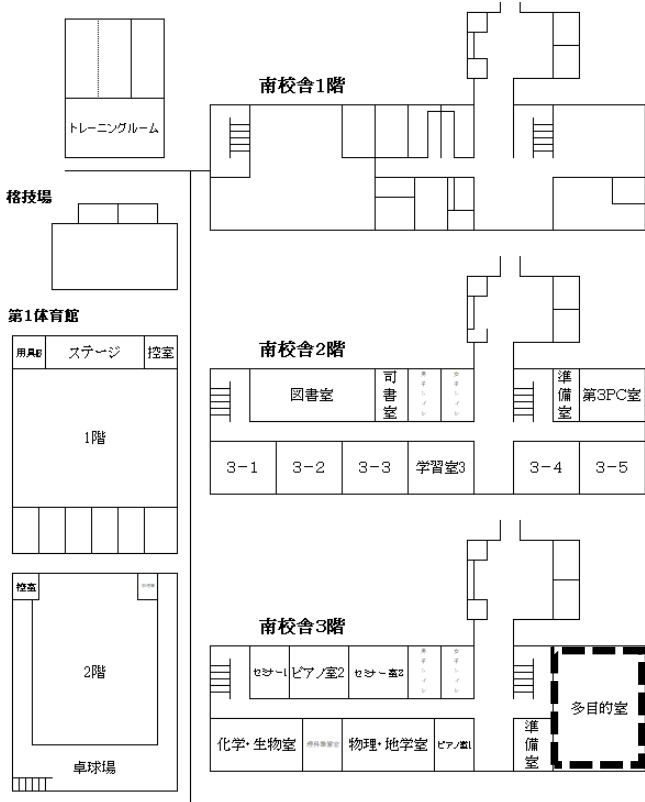
部活動名	JRC部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	顧問、副顧問で生徒を指導する。
部員数	3年生：5名，2年生：0名，1年生：9名（計14名）
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	活動日：毎週水曜日 活動時間：1時間
施設・用具等の状態	問題なし。
他部と兼用している場所・用具	特になし。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし。
熱中症対策	水分補給、帽子等の着用推奨
校外での活動の際の移動方法	公共交通機関、保護者送迎
日常使用する校外施設(図等添付)	
部内の安全に係わる確認事	・ Classroomを活用し、顧問と部員間での情報を共有する。 ・ 屋外での活動が多いため、熱中症対策についてはこまめに確認する。

部活動名	生活文化部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：3名
顧問と副顧問の役割分担	原則として顧問・副顧問が指導を行う。顧問が不在の時は副顧問が生徒の指導を行う。火曜日に旧家庭科部の活動を、水曜日に旧茶道部の活動を行う。水曜日には外部指導者1名（年間20回）と、顧問、副顧問で一緒に指導を行う。
部員数	22名（1年14名、2年1名、3年7名）
活動場所および活動時間 （トレーニング・部室棟全てを図内に記入）	
施設・用具等の状態	○被服室は、作業台が8台あり、各テーブル最大4名で使用。用具は、1人1つ使える数が揃っている。被服製作時に使用。 ○茶道の活動の際は、和室・東側水屋を使用。水屋にはガス台・給湯器があるが、どちらも古い。立礼のお手前練習や割り稽古の時は、被服室（作業机）も使用。 ○雨漏りで畳が傷み、ゴツゴツした状態のため、畳替えが必要。つり棚が動くため、紐で縛られているが、安全なのか心配な状態。 ○調理実習室は、作業台が8台あり、各テーブル4名程度で使用。調理用具、食器類は人数分以上の使える数が揃っている。包丁は鍵の付いた保管庫にあり、顧問・家庭科教員が管理。 ○保育室は、テーブルが8台あり、各テーブル2名程度で使用。工作を行う際に使用。
他部と兼用している場所・用具	なし
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	○ガス台・給湯器が古いため、家庭の物と異なり、一瞬炎がでるため火をつけたつもりでいたが、その後火が消えてしまいガス漏れの状態になってしまった。使用方法の伝授と炎の確認するように指導している。 ○換気のため窓を開けている時に強風が吹くと炎が消えてしまい、ガス漏れ状態になる。お湯を沸かしている時は、窓はほとんど開けず、近くにいる生徒・職員がこまめに炎の確認をするようにしている。
熱中症対策	調理実習室に冷房がないため、夏季は調理実習室を使用しない。
校外での活動の際の移動方法	公共交通、保護者送迎（お茶会に参加する時）
日常使用する校外施設（図等添付）	特になし
部内の安全に係わる確認事項	○使用教室は施錠されており、教員の許可で活動場所を利用し、用具を使う。 ○使用した用具は必ず元の場所に戻す。 ○電気や熱源等、電源が切れているか確認を行う。 ○食中毒の観点から、夏季の調理は行わない。 ○調理時は、靴履き替えスペースに荷物を置き、不必要なものは調理室には持ち込まない。

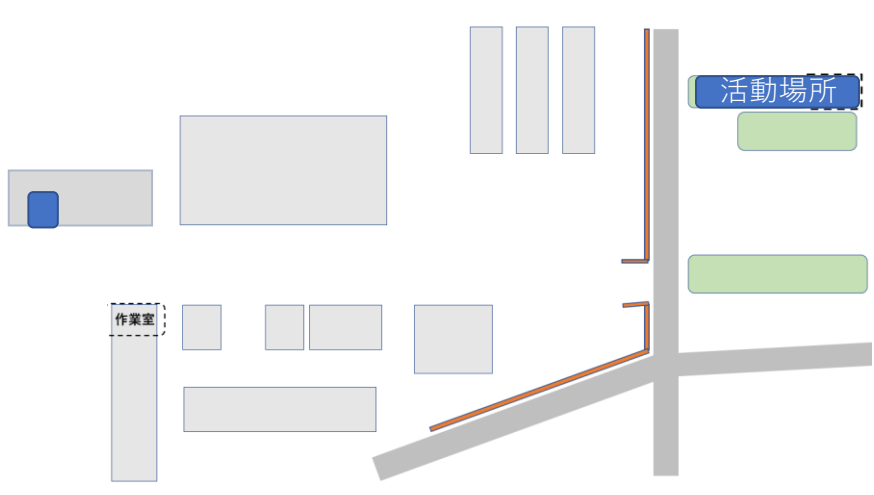
部活動名	吹奏楽部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：3名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が不在時に副顧問が生徒の指導を行う。
部員数	16名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 月曜日～金曜日 土曜日（必要に応じて） 活動時間 平日 2時間 土曜日 3時間 活動場所 主に蚕糸会館。内容によってピアノ室2での活動
施設・用具等の状態	更衣室にベル、楽譜を保存。 蚕糸会館に、木管楽器、金管楽器、打楽器、その他練習用機材等と楽譜を保存。
他部と兼用している場所・用具	蚕糸会館では不定期に同窓会の会議が行われる。文芸部や事務所有物多数有。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし。
熱中症対策	エアコンと扇風機の使用。
校外での活動の際の移動方法	公共交通機関、保護者送迎と顧問運転による公用車での移動。
日常使用する校外施設(図等添付)	特になし。
部内の安全に係わる確認事項	消灯・施錠の徹底。

部活動名	芸術文化部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：1名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が生徒の指導を行う。顧問が不在の場合は、副顧問が指導する。
部員数	12名(3年2名、2年6名、1年4名)
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 月曜から金曜 活動時間 1～2時間程度
施設・用具等の状態	冷房がない。
他部と兼用している場所・用具	特になし。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし。
熱中症対策	扇風機をまわす。 水分補給
校外での活動の際の移動方法	自転車や公共機関、保護者の送迎。
日常使用する校外施設	特になし。
部内の安全に係わる確認事項	○熱中症予防のため、水分補給をしっかりとさせる。 ○室内温度が厳しい場合は活動場所を変更。 ○換気。

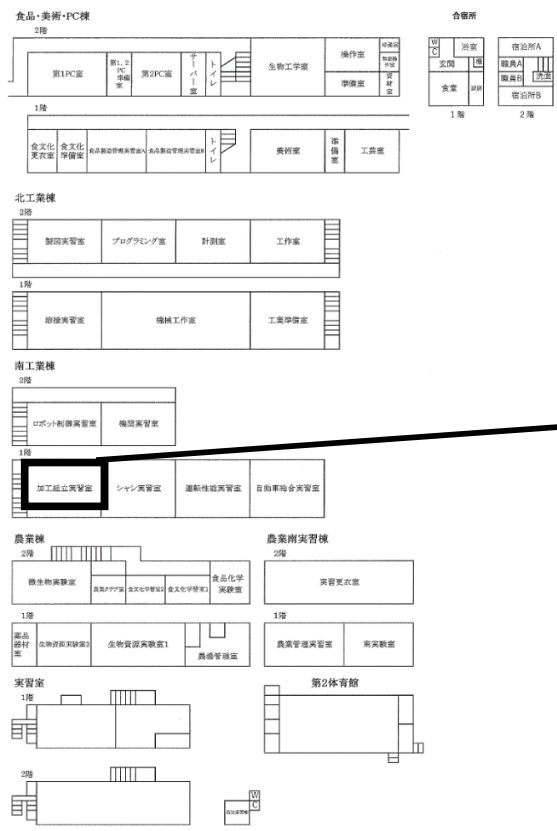
部活動名	ビジネス研究部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	普段の練習は主に、顧問が参加。 顧問が部活動に出られないときは副顧問に連絡
部員数	9名 1年生3名、2年生6名、3年生0名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動場所 第1PC室 活動日 月・火・木 活動時間 1時間
施設・用具等の状態	特に問題なし。
他部と兼用している場所・用具	なし。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	窓の施錠の未確認 → 部活終了時に確認する。
熱中症対策	○適切に冷房を使用する。 ○適宜、水分補給のため、退室可能である。（教室内では飲食禁止）
校外での活動の際の移動方法	特になし。
日常使用する校外施設	特になし。
部内の安全に係わる確認事項	○体調不良時は、参加しない。 ○天候不良（雷雨）が予想される場合は、居住地によっては、早く帰す。

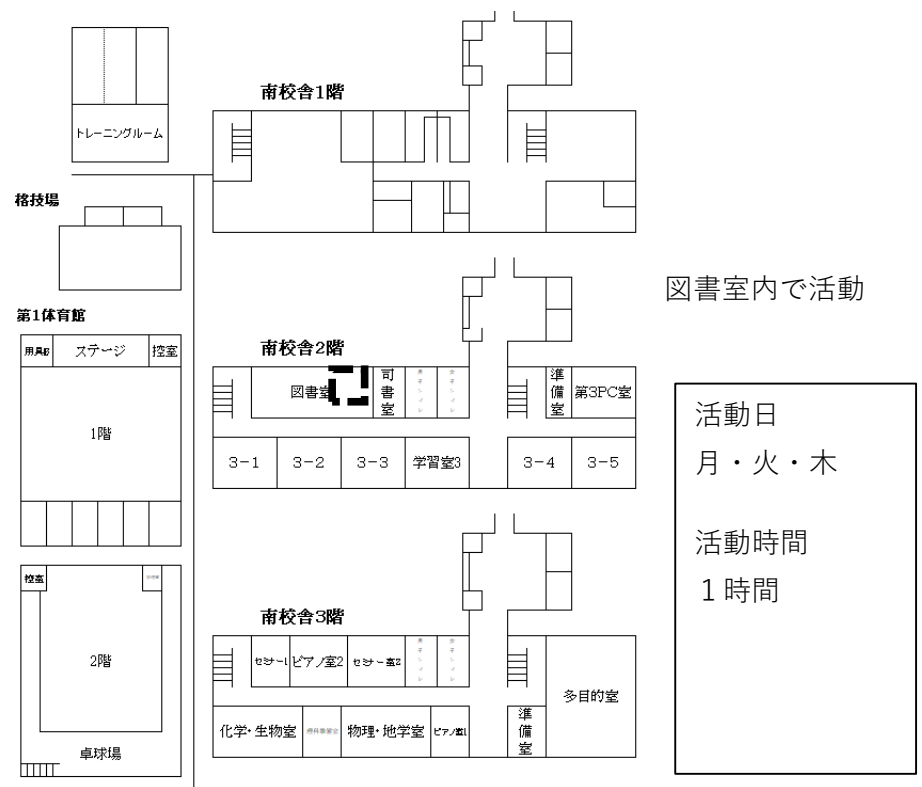
部活動名	和太鼓
顧問・副顧問	顧問 1 名 副顧問 3 名
顧問と副顧問の役割分担	主に顧問が担当
部員数	1 6 名(3年 6 名、2 年 4 名、1 年 6 名)
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動日 火～日 活動時間 通常登校時 2 時間 祝祭日 5 時間 ※対外試合等があるときは、この限りでない。
施設・用具等の状態	良好
他部と兼用している場所・用具	なし。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	部活前の体調チェック
熱中症対策	水分補給・15分練習後の休憩と空気の入換え 換気 空調
校外での活動の際の移動方法	マイクロバス
日常使用する校外施設(図等添付)	なし。
部内の安全に係わる確認事項	水分補給・15分練習後の休憩と空気の入換えについて常時指示 熱中症についての警戒を怠らないよう常時指示 過度な練習と長時間の練習をしないように注意喚起

部活動名	演劇部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が不在時に副顧問が部員の指導を行う。
部員数	3年生：8名 2年生：3名 1年生：4名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	活動場所 南校舎3階セミナー室 ※大会や発表会が近いと第一体育館壇上で練習を行う。 活動日 毎週火・水・木 ※大会や発表会が近いと月金や土日にも練習を行う。 活動時間 平日2時間 休日3時間
施設・用具等の状態	・衣装や大道具用の物品を部室で保管している。(金切鋸、電動ドライバーといった刃物や工具も保管している) ➡部室の鍵は顧問が管理している。 ➡部室に部員個人の物を置いたり、着替えをしたりしない。
他部と兼用している場所・用具	第一体育館壇上 (男子バスケット部・男子バレー部)
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし。
熱中症対策	・暑さがひどい場合は、クーラーが付いている教室で活動を行う。 ・こまめに水分補給をする。 ・体調について適宜声をかける。(特に衣装を着用している際は注意する)
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎、自転車、公共交通機関、徒歩
日常使用する校外施設(図等添付)	特になし。
部内の安全に係わる確認事項	・顧問不在時は、刃物や工具を使用させない。 ・天候不良が予想される場合は、早く下校させる。

部活動名	ファーム部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：3名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が生徒の指導を行う。顧問が不在の場合は、副顧問が指導する。
部員数	17名（1年6名・2年3名・3年4名）
活動場所および活動時間 （トレーニング・部室棟全てを図内に記入）	東門付近  原則としては火・木曜日の放課後に1時間程度活動を行う。 土日等に行われる地域のイベントに参加する。
施設・用具等の状態	生物資源系列の圃場および施設を借りて行っている。 場所は栽培状況により移動する。
他部と兼用している場所・用具	なし
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし
熱中症対策	帽子の着用や水分補給について指示、また経口補水液を準備している。
校外での活動の際の移動方法	公用車または自転車
日常使用する校外施設（図等添付）	なし
部内の安全に係わる確認事項	器具や機械は正しい使用方法を行う。 器具は洗浄し元の場所に片付ける。

部活動名	写真部
顧問・副顧問	顧問 1 名 副顧問 1 名
顧問と副顧問の役割分担	特になし（主として顧問が担当）
部員数	10 名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	
施設・用具等の状態	施設、用具の使用はなし。
他部と兼用している場所・用具	なし。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし
熱中症対策	活動前の体調のチェック、撮影時の水分補給、帽子の着用。
校外での活動の際の移動方法	保護者送迎
日常使用する校外施設(図等添付)	特になし。
部内の安全に係わる確認事項	機材の安全確認

部活動名	メカトロ部
顧問・副顧問	顧問 1 名 副顧問3名
顧問と副顧問の役割分担	顧問不在の場合は副顧問が監督、参加
部員数	11名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 活動場所 施工組立室 活動日 火・木・金 活動時間 1 時間
施設・用具等の状態	系列の施設・設備を利用しているため使用後は清掃し、整理・整頓する。
他部と兼用している場所・用具	なし。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	各種工作機械を利用する場合は安全確認を行う。 体調が優れなかったり自信が無い場合、無理に作業しない。
熱中症対策	暑い中で長時間作業しない。 適宜水分補給する。
校外での活動の際の移動方法	特になし。
日常使用する校外施設(図等添付)	特になし。
部内の安全に係わる確認事項	作業ごとに、安全確認を徹底する。

部活動名	将棋部
顧問・副顧問	顧問 1 名 副顧問1名
顧問と副顧問の役割分担	顧問不在の場合、副顧問が監督、指導、引率
部員数	2名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	 図書室内で活動 活動日 月・火・木 活動時間 1 時間
施設・用具等の状態	問題なし。
他部と兼用している場所・用具	3年のロッカーを荷物置き場として借用
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	なし。
熱中症対策	クーラーの使用
校外での活動の際の移動方法	保護者の送迎等
日常使用する校外施設(図等添付)	なし。
部内の安全に係わる確認事項	○熱中症予防のため、水分補給をこまめに行い、室内温度に留意する。 ○マスク着用。ソーシャルディスタンス確保。 ○道具等の貸し借りによる感染を防ぐ。

部活動名	食品部
顧問・副顧問	顧問：1名 副顧問：2名
顧問と副顧問の役割分担	顧問が不在のとき、副顧問が対応する。
部員数	11名
活動場所および活動時間 (トレーニング・部室棟全てを図内に記入)	食品・美術・PC棟 2階 食品製造 活動場所 ・ダンス部棟 2階 ・食品製造室 活動日・水曜(木曜・土曜) 活動時間 ・2時間 ※発表等があるときは、この限りでない。 長期休業中は、3時間。
施設・用具等の状態	そば粉によるアレルギーを防止するため、そば打ちは、そば打ち専用の部屋で、食品部専用の用具を使用している。そば室の入口には、そば打ちをすることを表示している。
他部と兼用している場所・用具	菓子製造室及び用具は、食文化系列の授業で使用しているもの。
これまでのヒヤリハットとその再発防止策	特になし。
熱中症対策	そば室では、扇風機1台、冷風機1台を使用。換気扇は使用できないが、窓を開けて換気をしている。夏季は、空調設備のある食品製造室で活動する。
校外での活動の際の移動方法	公用車および公共交通機関
日常使用する校外施設(図等添付)	特になし。
部内の安全に係わる確認事項	・手洗い、爪切り、服装等衛生上の注意を払う。 ・用具の整理整頓をする。 ・作業中は、他者と距離をとり、ぶつからないようにする。 ・出入口の施錠を確認する。